

社会（2年歴史） 評価計画

①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度

指導単元	観 点	単元の評価基準 学習評価表	具体的評価目標 おおむね満足 B	評価方法 場面
<p>第2章 中世 武家政権の成長 と東アジア</p> <p>第2節 武家政 権の内と外</p> <p>第3節 人々の 結び付きが強ま る社会</p>	<p>①、 ②、 ③</p>	<p>①鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解させる。</p> <p>①南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解させる。</p> <p>①農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解させる。</p> <p>②武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>②中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>③中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p>①鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。</p> <p>①南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。</p> <p>①農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。</p> <p>②武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>① 中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>ワークシート 小テスト・レ ポート等 定期試験 学習ドリルソ フトの活用 授業観察 提出物 発表</p>
<p>第4章 近代国家の歩み と国際社会</p> <p>第1節 欧米諸 国における「近 代化」</p>	<p>①</p>	<p>①欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。</p> <p>①開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮など</p>	<p>①欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。</p> <p>①開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、</p>	<p>ワークシート レポート 学習ドリルソ フトの活用 その他提出物 小テスト 定期試験</p>

<p>第2節 開国と幕府の終わり</p>	<p>を基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。</p>	<p>明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。</p>	<p>発表 授業観察 等</p>
<p>第3節 明治政府による「近代化」の始まり</p>	<p>①自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解させる。</p>	<p>①自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。</p>	
<p>第4節 近代国家への歩み</p>	<p>①我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解させる。</p>	<p>①我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。</p>	
<p>第5節 帝国主義と日本</p>	<p>②工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p>	<p>②工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	
<p>第6節 アジアの強国の光と影</p>	<p>③近代前半の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>③近代前半の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p>③近代前半の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③近代前半の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	